

東松山市において防災職員向け『マイ・タイムライン講習会 水害から大切な人を守る！ ～自分の避難計画をつくろう～』を実施しました。

実施日：令和2年10月17日（土）

目的

東松山市危機管理職員が、今後住民向けに展開する「マイ・タイムライン」講習会等において支援ができるよう、自身でマイ・タイムラインを作成することでその過程を確認するとともに、マイ・タイムラインを通じて住民に伝えるべきポイント等を習得してもらうことを目的として実施しました。

講習会の流れ

なぜ、今「マイ・タイムライン」なのか？

平成27年関東・東北豪雨以降、近年の水害の頻発・激甚・広域化を説明し、自ら逃げることの必要性を説明。

グループワーク マイ・タイムライン作成

【グループワークの設定】

- 共通した架空の家族構成を設定
- 対象河川の異なる3つのグループに分かれ、マイ・タイムラインを作成するうえでのポイント（災害リスクの確認・避難場所の確認・避難のポイント・避難開始のタイミング・避難情報の収集手段・避難するときの注意点）について意見交換をしながら、実際にマイ・タイムラインを作成

グループワーク 共有・意見交換

- 各グループで決めた行動内容と、その行動を決めるためのポイントや課題などを発表し、会場全体で共有
- 全体を通じての課題などを意見交換

実施状況



開会挨拶(東松山市役所)



講師説明



グループワーク



閉会挨拶(荒川上流河川事務所)

参加者からの主な意見(意見交換・事後アンケートをもとに記載)

- ・市民に対して実施するにあたっては、ハザードマップ以外の情報についての丁寧な情報提供が必要と感じた。
- ・意識のない人、ある人、それぞれに必要なことを伝える難しさを感じる。
- ・コロナ禍の状況での実施方法を考えることが必要。
- ・同一自治会内においても浸水想定の有無で意識の差が大きい。浸水区域外を含めて対象とする場合の講習会運営が難しいと感じる。
- ・講習会は自治会役員等の参加が多く、一般車の参加が少ないのが課題。どのようにPRするか。女性参加者も増やしたい。